

人を育て、共に成長をする

持続可能な明日へ向けて



1



2



3



4

1)世界を牽引するベンダ工業株式会社の本社。 2)「株式会社岩瀬屋製作所」と共同し、EV車の部品製造を行う。 3) 経営幹部を集め SDGs のワークショップが行われた。 4) 代表取締役社長八代一成さん。

世

界の鉄を曲げてやると熱い志からスタートしたベンダ工業。BENDA（曲げる）が社名の由来にもなっており、従来のプレス打ち抜き工法では原材料の約80%がスクラップとなっていたところ、鉄を曲げる独自の製法によって、スクラップがたった5%で済むという「ベンダ工法」を開発。圧延→曲げ→切断→溶接→熱処理→矯正という工程で鉄を真円のリングへと加工する「ベンダ工法」で省資源でのリングギアを含むリング製品を製造している。製造する上で欠かせない「匠」と呼ばれる方々の技術を継承するために、2007年から広島を基点に増設を開始。日本の発展にも貢献をする中で、元気で長く勤めてもらえるよう、2017年に健康経営もスタートさせている。社員の健康への配慮として社員食堂をオープンしたり、有給休暇消化推進など、働き方改革の一環として働きやすい環境を整備し、2022年7月より、次のステップ「働きがい」への取り組みを始めた。「働く人に報いる人事制度」を大切に、ベンダグループ全体で自分らしさと能力を發揮できるよう正当な評価・フィードバック・達成感が得られるシステムなど様々な施策を行っている。さらに経営幹部を集め、SDGsのワークショップやESG経営勉強会を開催するなど、グループ全体でこれからの環境問題への関心を高めていく試みを行っており、カーボンニュートラルへ向けた活動も開始させた。工場全体でのCO₂の排出量を計算、目標を立て、2030年までに実行していく予定。また、環境に優しいハイブリット車の部品製作をはじめ、新たに「株式会社岩瀬屋製作所」とグループ提携をして、EV車への部品製作にも乗り出しており、これから社会・環境のギアとしても活躍が期待されている。

会社情報



1964年9月5日にベンダ工業株式会社を設立。「品質は命なり」をモットーに、世界4ヶ国の工場で、世界の自動車部品を中心に、トラック、建機、農機などの部品を製造。リング製品全体で年間2000万個以上を生産、世界トップシェアを誇る。ベンダ工法は2009年に第3回「ものづくり日本大賞」経済産業大臣賞を受賞。

大小を問わず、汎用のギアから専用のギアまで様々なリングギアを製造。

日本の技術継承と共に環境への配慮

